

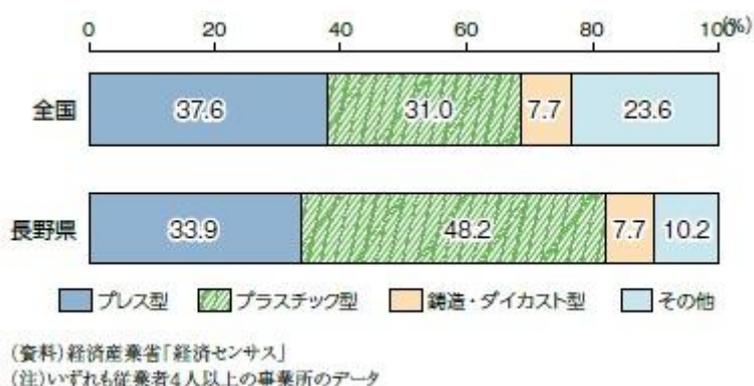
最近の業界動向

- 金型業界は企業の設備投資と関連が強いため、景気変動の影響を受けやすい。全国の製造品出荷額の推移を図表1で見ると、2009年はリーマン・ショックによる世界的な不況の影響を受け、前年に比べ3割以上の大幅な減少となった。その後、17年にかけて緩やかに持ち直したが、米中貿易摩擦や新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、20年には1兆2,335億円まで減少した。事業所数をみると、20年は4,723事業所と、08年の7,058事業所に比べ約3割減少している。
- また、全国の20年の種類別の出荷額をみると、プレス型が37.6%、プラスチック型が31.0%と、この2つで約7割を占めている（図表2）

図表1 製造品出荷額と事業所数の推移（全国）



図表2 2020年の種類別の製造品出荷額構成比（全国、長野県）



長野県内の動向

- 長野県の金型業界の製造品出荷額は、全国同様に09年に急減した後、14年以降緩やかに持ち直し、17年は653億円となった。しかし、20年には462億円とリーマン・ショック後の水準にまで落ち込んでいる。また、事業所数も減少が続いており、20年には230事業所となっている（図表3）。

- 長野県の種類別の製造品出荷額を図表2で見ると、県内に樹脂成形事業者が多いことから、プラスチック型が約半数を占めている。

図表3 製造品出荷額と事業所数の推移（長野県）



(資料) 経済産業省「工業統計(品目編)」、「経済センサス」
 (注) 1. 11年、15年、20年は経済センサスのデータ
 2. いずれも従業員4人以上の事業所のデータ

一般財団法人長野経済研究所
 産業調査
 電話番号：026-224-0501